



大阪府中学校の

「わくわく・どきどきSDGsジュニアプログラム」に参加しました



アイデアミーティングの アドバイザー企業として訪問

大阪府教育庁が主催する、2025年日本国際博覧会協会教育プログラム「わくわく・どきどきSDGsジュニアプロジェクト」で「すべての”いのち輝くSDGsアイデア」に取り組む、箕面市立第三中学校と八尾市立曙川中学校を訪問しました。

中学2年生の皆さんが、自分たちで調べて考えたアイデアを班別に発表する内容を拝見し、具体的な実現に向けたアドバイスや、当社のSDGsの取り組みなどを紹介しました。

中学生ならではの視点や アイデアが新しい発見を生む

箕面市立第三中学校では、古着やランドセルのリサイクル、海洋プラスチックごみを減らす取り組みや、肌アレルギー表示の改善など、日常で得た気づきを課題として捉え、調べたデータに基づいて論理的な提案をされていたのが印象的で感心させられる内容でした。

八尾市立曙川中学校では、世界の貧困やジェンダー/多様性に関する問題など、さまざまな分野のアイデア発表に対して双方向で議論。授業後半は、アップサイクルによってできたミニタオルをアイデアを具体化する教材例として実際に手に取りながら、意見出しのグループワークも行いました。

中学生ならではのSDGsについての考えや意見を知ることができ、当社としても気づきの多い有意義なアイデアミーティングの訪問でした。今後も地域社会や教育機関と連携し、未来を担う子どもたちに繊維の魅力をSDGsの学びの視点から、支援していきたいと考えています。